



LINE

2019.11.22

LINE株式会社

主な機能

- **トーク** : 友だちに文字、「スタンプ」というイラスト、写真や動画、音声、位置情報を送ることができます。複数の人に連絡をする際には、グループトークで一度に用件を伝えることができます。
- **通話** : 音声通話やビデオ通話を利用することができます。電話回線ではなく、インターネット回線をつなぐため、電話料金はかかりません。また、音声・ビデオ通話は複数人で利用することも可能です。
- **タイムライン** : テキストや画像、動画やスタンプで自分の近況を共有したり、友だちの近況を確認したりすることができます。世界中のLINEユーザーと交流することができますが、「見せたくない相手に自分の投稿を見せない」または「見たくない相手の投稿を見えなくする」ために、「公開範囲」の設定を行いましょう。
- **友だち** : LINE上でメッセージの送信や通話ができる相手として登録されているのが「友だち」です。友だちの登録方法は大きくわけて2つあり、電話帳に登録された電話番号を使って自動的に登録する方法と、手動で登録する方法があります。登録している友だちは「ブロック」「非表示」「削除」という手段で管理することができます。



安心・安全な利用のために

見ず知らずの人と友だちになってしまう

ブロック機能

友だちになった相手とのつながりを拒否する方法として、ブロック機能を提供しています。ブロックしても相手には伝わりませんが、相手からのトークや通話を受信することはできなくなります。

年齢情報を用いた機能制限

青少年の出会いによるトラブルを未然に防ぐため、携帯電話会社が提供する年齢認証機能を利用して、18歳以上を確認しています。確認できない場合にはLINE ID検索などの一部機能に制限を設けています。
携帯電話の契約時に、正しく利用者の申請をしましょう。
※格安SIMを利用している方は、年齢認証をすることができない場合があります。

学校の友だちなど知り合い同士のグループ内でのいじめ

トラブルに巻き込まれないための「考え方」と「使い方」

青少年のトラブルを未然に防ぐために、まずは、大人自身が使い方やネットマナーに関する知識を得ることが肝心です。LINEの設定次第で回避できる部分は設定方法をお子さまに教え、また、他人とのコミュニケーションに関するマナーや、インターネットに潜む危険をご家庭や学校などで、正しい「考え方」と「使い方」の両面で十分に話し合ってください。



迷惑メール業者トラブル

身に覚えのない情報には決して反応してはいけません

設定によっては、見ず知らずの相手から連絡が届くことがあります。知らない相手からしつこく友だち追加されたり、身に覚えのない賞品や賞金の当選通知などが届いたりしても、決してそれに応答してはいけません。多くの場合、詐欺の常套的な手段だからです。また、LINEを語るフィッシングメールも要注意です。

通報機能

LINEの友だちではない人からトークが送られてくると、「ブロック」「通報」のボタンが表示されます。身に覚えのない人からの迷惑なトークは、すぐにLINEに通報することができます。

※詳しくは「LINE安心安全ガイド」(<http://linecorp.com/ja/safety/index>) ご参照ください。

青少年ネット利用環境整備協議会

青少年の安心・安全なネット利用のために参加事業者が運営するサービスの情報を提供しています。